

# 高圧ガス保安法実務マニュアル

## ( 高 圧 ガ ス 事 故 届 編 )

高圧ガス保安法の適用を受ける高圧ガスに係る事故等に適用する。

—高圧ガスに係る事故等とは—

法が適用となる高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱、消費及び廃棄並びに容器の取扱（以下「製造等」という。）中に発生したものと及び発生するおそれがあるもので、次に掲げるものをいう。

爆発（高圧ガスの設備等（以下「設備等」という。）が爆発したものをいう。

火災（設備等において、燃焼現象が生じたものをいう。）

噴出・漏洩（設備等において高圧ガスの噴出・漏洩が生じたものをいう。）

破裂・破壊等（設備等において高圧ガスの破裂・破壊・破損等が生じたものをいう。）

喪失・盗難（高圧ガス又は高圧ガスの容器の喪失又は盗難をいう。）

高圧ガスの製造のための施設、貯蔵所、販売のための施設、特定高圧ガスの消費のための施設又は高圧ガスを充てんした容器が危険な状態となったとき。

その他

< 目 次 >

	頁
高圧ガス事故届 -----	1
様 式 -----	3

平 成 1 7 年 4 月

福島県生活環境部県民安全領域

## I 高圧ガス事故届

第一種製造者、第二種製造者、販売業者、高圧ガス貯蔵所の所有者、特定高圧ガス消費者、その他高圧ガス又は容器を取り扱う者が、その所有し、又は占有する高圧ガスについて災害が発生したとき等のため、法第63条に基づいて知事に届出を行うときに必要な手続きは、次のとおりです。

### 1 提出時期 事故急報後遅滞なく行うこと。

高圧ガスによる事故発生時は、公共の安全を確保するため、直ちに応急の措置をとり、事故の拡大防止に極力努めるとともに、各地方振興局又は消防保安グループへ電話による急報をお願いします。

### 2 提出先 所在地を管轄する地方振興局

### 3 提出部数 正本1部

### 4 提出書類

事故届書（様式1）に事故状況報告書〔様式2〕を添付し提出すること。

### 5 事故状況報告書〔様式2〕の作成要領

#### （1）事故発生日時

「 月 日 時 分頃」と記載すること。時刻は24時間表示ですること。

#### （2）事故発生場所

場所に加えて、「 製造施設又は 事務所」等施設名、さらには許可・届出施設である場合には規制対象（第一種製造者、販売業者、高圧ガス貯蔵所等）を記載すること。

移動中の事故にあっては、「 地内国道4号線 前上り車線」と記載すること。

#### （3）事故発生区分

災害現象（爆発、火災、噴出漏洩、破裂・破壊等、喪失・盗難、その他）を記載すること。

#### （4）事故の概要

事故発生前の状況、発生までの経緯、事故の状況等をできるだけくわしく記載すること。

#### （5）設備等の概要

事故があった設備等の概要について、ガスの名称、ガスの状態等をできるだけくわしく記載すること。

#### （6）被害の状況

人的被害の状況は、負傷の程度（重傷者、軽傷者別）別に氏名、年齢、住所、会社名等を記載すること。

物的被害の状況は、物的被害の箇所、被害の状況及び直接損害額等を記載すること。

( 7 ) 事故の発生原因

直接的、間接的発生原因、被害拡大原因等をできるだけ詳細に記載すること。

なお、この届は事故急報後、できるだけ速やかな提出を求めているため、提出時点で不明の点があれば、とりあえず、推定した原因を記入し、後に確定報の提出をお願いします。

推定の場合は、原因推定の理由、原因推定上参考になるべき事実を詳細に列挙してください。

( 8 ) 事故に対してとった措置

応急措置状況、119通報状況(時間、通報者)、関係者以外に対する避難命令、地域防災協議会等共同防災応援要請状況等について記載すること。

( 9 ) 今後の対策

今後の事故再発防止対策について記載すること。

事故原因が不明の場合は、「事故原因究明後に決定の予定」と記載し、確定報で報告すること。

( 10 ) その他参考になる事項

消防、警察、報道、地元住民等の動き等参考になることがありましたら、資料等を添付してください。

6 その他

事故状況については、事業者からの報告等をもとに県から国へ報告することになります。このため、事故状況報告書の記載内容によっては、後日補足資料等を求めることもあります。

< 様式目次 >

	頁
1. (様式 1) 高圧ガス事故届書 -----	4
2. [様式 2] 高圧ガス事故状況報告書 -----	5

(注)

1. (様式 ) は、規則に定められている様式であることを示す。

なお、様式番号は各規則上の番号と一致するものではありません。

2. [様式 ] は、通達又は福島県において定めた参考書式であることを示す。

(様式1)

事故届書	一般	×	整理番号	
	液石 冷凍	×	受理年月日	年 月 日
氏名又は名称 (事業所の名称又は販売所の名称を含む。)				
住所又は事務所(本社)所在地	〒			
事業所所在地	〒			
事故発生日時	平成 年 月 日 時 分頃(24時間制)			
事故発生場所				
事故の状況	別紙「事故状況報告書」のとおり			
連絡先	所属		氏名	
	電話	- ( ) - 内線 ( )		

平成 年 月 日

代表者 氏名

印

福島県知事

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 印欄は該当する項目を で囲み、×印の項は記載しないこと。

3 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

# 事故状況報告書

1 事故発生日時 平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 \_\_\_\_時\_\_\_\_分頃 (24時間表示)

2 事故発生場所

---

---

3 事故発生区分

災害現象 1.爆発 2.火災 3.噴出漏洩 4.破裂・破壊等 5.喪失・盗難  
6.その他( )

4 事故の概要(事故発生前の状況、発生までの経緯、事故の状況等)

---

---

---

5 設備等の概要

ガスの名称

ガスの状態

1.液相 2.気相

1.常圧 2.加圧

1.低温 2.常温(5 ~ 35 ) 3.高温

設備等の概要

---

---

---

6 被害の状況

(1) 人的被害の状況(氏名、年齢、住所、会社名)

死者

重傷者

軽傷者

(2) 物的被害の状況

---

---

7 事故の発生原因（直接的、間接的発生原因、被害拡大原因等）

---

---

---

---

---

---

8 事故に対してとった措置（応急措置状況、119通報状況（時間、通報者）、関係者以外に対する避難命令、地域防災協議会等共同防災応援要請状況等）

---

---

---

---

---

9 今後の対策（今後の事故再発防止対策等）

---

---

---

---

---

---

---

10 その他参考になる事項（消防、警察、報道、地元住民等の動き等参考資料等）

---

---